

歩道設置の条件に満たさず、設置できる状況にありませんでした。

八百津町通学路安全推進会議でも危険箇所と認識され、待機場所等の安全を確保できる場所を調査の上、本年3月に横断歩道設置の要望書を提出しております。

今後、通学路の交通量調査や横断者数の調査を行い、その結果等も踏まえ、10月頃に公安委員会会で審査される予定です。

また、逆巻地内の稲葉橋北側交差点の横断歩道ですが、逆巻公民館方面からの車は、交差点で一時停止となっており、横断歩道で車が止まりやすいこと、ガードパイプや街路灯設置により、横断者の安全が一番守られる場所を、加茂警察署と現地立ち合いの上設置しております。逆巻公民館西側の消えかかっている横断歩道につきましては、本年4月に再塗装の要望書を提出しております。



野上逆巻地内通学路

山田 勉 議員

問 木曾川を美しくする運動について

新丸山ダム建設事業に伴い、木曾川の上下流に桜の木を植えて環境整備をしてはどうか。

答 (藤掛建設課長) 新丸山ダムが完成した際には、観光や地域振興にもダムを活用していきたいと考えております。現在、新丸山ダム工事

事務所とともに「新丸山ダム水源地域協議会」を結成し、ダムやダム湖の活用、周辺地域の観光やレジャー、地域の活性化、ダム上下流域地域の交流などを検討しております。この中でダム周辺の環境整備についても検討してまいりたいと考えております。

桜の木の植樹はダム周辺の環境整備や観光という面から有効な施策であると考えます。ただ、植樹する土地の制約もありますし、費用の面も検討しなければなりません。今後、新丸山ダム工事事務所と協議検討していきたいと思えます。

問 伊岐津志の町道改良について

八百津トンネルの開通により、交通量が増加し町道の中には、とても狭いところ

もあるが、将来改良する必要はないか伺う。

答 (藤掛建設課長) 八百津町と御嵩町の交通が格段に便利になりました。交通量も増えております。また、保育園や病院、老人ホームなどが建設され、今後、この周辺の交通量が増加すると思われます。

ただ、保育園と病院がある路線と、老人ホームが建設される路線は違いますので、交通量が増えても分散するのではないかと考えております。

道路幅員の狭いところがあるのも事実ですが、拡幅改良事業を行うには測量設計費や用地買収費、工事費など膨大な費用が掛かります。従いまして、今後は交通量の状況や、交通の流れを見ながら拡幅改良事業を検討してまいります。

問 今後の公共交通のあり方について

Q1 高齢者の間で、病院や買い物に行くのに困っていると聞く。将来の公共交通の役割が重要だが、今後どのように考えているのか伺う。

答 (永田地域振興課長) 平成30年度に地域公共交通網形成計画の策定にとりかかりました。現在パブリックコメントが終了し、最終案を今月末に公共交通協議会に諮る予定をしております。今年度は再編計

画に取り組んでいきます。

今後の基本方針としては、二ーズにあった運行形態への転換を行い、ダイヤ・ルートについて公共交通の接続を考慮し、利用し易い誰もが使える公共交通網にしていくよう考えていきます。また、将来にわたって維持できる地域公共交通網とするために、行政だけでなく、利用者・地域・交通事業者・関係機関等が協力し、知恵を出し合って支えていくことが必要ですので、懇談会等を開催いたします際には、積極的に参加いただき、ご意見をいただきたいと思えます。

柘植 清貴 議員

問 高校生までの医療費無料化について

Q1 現在中学生までの医療費無料化について、高校生までにできないものか伺う。

答 (山内町民課長) 県内の平成31年4月1日現在、高校生への医療費助成の実施状況は、42市町村中、入院のみを含め15市町村が実施しています。この対象年齢の延長に

関しては、本町では平成25年頃から検討しています。実施した場合の対象者は300人ほどで、概算経費は年間9百万円から1千万円程度の費用を予測しています。単年度だけではなく毎年経費

が発生しますので、他の行政サービスへの影響や費用対効果など総合的に検討した結果、現時点では見送りとなっております。今後も継続して検討していきます。

問 高校生の通学支援について

Q1 高校生の通学支援について伺う。

答 (永田地域振興課長) 高校生の通学手段として、

西部地区では自転車通学が多く、東部地区ではバス通学、家族の車での送迎などが考えられます。公共交通活用の面から高校生

の通学について、「通学手段に関する調査」を実施したところダイヤの調整があれば利用したい等の意見がありました。平成26年にコミュニティバスとスクールバスを分離し、通学に便利なダイヤになるように再編を行ってまいりましたが、まだ不十分なところがありますので、引き続き調査検討が必要と考えています。

今後、地区懇談会などを実施し、住民の皆さんや高校生の意見なども聞きながら検討を進めます。公共交通の充実を進め、補助制度につきましては、今後検討をしていきます。

